

Evening Report

株式会社フィスコ
2012年10月23日(火)
17:46

フ
イ
ス
コ
イ
ブ
ニ
ン
グ

株式市場 アップルイベントとフェイスブック決算

日経平均は小幅ながら7営業日続伸。3.54円高の9014.25円(出来高概算15億7000万株)で取引を終えた。週明けの米国市場では利益見通しを下方修正した米キャタピラーが売り先行後に切り返したことが安心感につながった。また、日銀がさくらレポートでの下方修正によって追加の緩和政策への期待、欧州債務不安の落ち着いたき、為替市場での円安基調を背景に、買い優勢のスタートに。

しかし、寄り付き直後に付けた9075.58円が高値となり、その後はこう着感の強い相場展開に。為替市場では対ドル、対ユーロともにやや円高に振れるなか、日経平均は後場に入り9000円を割り込む局面をみせた。ただ、追加緩和期待などを下支えに下を売り込む流れとはならず、また、ファンック<6954>、ファーストリテイリング<9983>など、指数インパクトの大きい値がさの一角が上げ幅を広げた影響もあって、日経平均は9000円をキープした。

また、日経平均は値がさが下支えた格好であり、TOPIXについては続落となった。東証1部の騰落銘柄は値下がり数が1000を超えている状況であり、手掛けづらい相場環境であろう。

決算が本格化するなか、これに関連する銘柄やセクターなどへの物色が中心になりそう。また、やや仕手系色の強い材料株などの一角が動き付いている。相場全体がこう着のなか、短期の値幅取り狙いの資金が向かいやすいようだ。

加えて、明日については米アップルの動向に影響を受けることになろう。アップルは米西部時間23日午前10時(日本時間24日午前2時)に特別イベントを開催する。

「iPad mini」に対する注目度が高いほか、「MacBook Pro」など製品の発表も噂されている。そのほか、グリーンズバン前FRB議長が講演のほか、決算ではフェイスブックが予定されている。

(村瀬智一)

為替市場 ドル・円は弱含み、80円01銭から79円78銭まで軟調推移

ドル・円は弱含み、80円01銭から79円78銭まで軟調推移。ドル・円は、80円00-10銭の海外勢の利食い売り、本邦輸出企業のドル売りオーダー、ユーロ・円の下落を受けて上げ渋る展開となった。

ユーロ・ドルは弱含み、1.3075ドルから1.3022ドルまで軟調

推移。欧州安定メカニズム(ESM)が欧州連合司法裁判所で審理される可能性を受けて弱含みに推移した。ユーロ・円は弱含み、104円58銭から103円91銭まで軟調に推移した。

参考銘柄 太陽誘電(東証1部 6976)

米アップル・イベントへの期待

業種	電気機器
投資評価	買い
終値	710 円
目標株価	780 円
売買単位	100 株

米アップル関連への見直し期待で注目する。一目均衡表では雲のねじれのタイミングで上放れており、雲上限をサポートにしたい一段のリバウンドが期待される。週明けの米国市場のアップルへの期待からハイテク主導で切り返しをみせており、23日(日本時間24日)のイベント、25日(同26日)の決算を手掛かりに、関連銘柄への関心が高まりやすい。

(村瀬 智一)

単位・円



リバウンド基調が継続。5日、25日線との短期ゴールデンクロス示現。9/26に空けたマド埋め完了。戻り高値を意識したトレンドへ。

(百万円・円・%)

連結	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益
08.03	238,274	7.70	21,304	19,141	-11.55	10,634	89.22
09.03	185,452	-22.17	-12,755	-12,601	0.00	-14,332	-121.51
10.03	195,690	5.52	4,203	1,966	0.00	-680	-5.78
11.03	210,401	7.52	8,792	6,740	242.83	-5,506	-46.82
12.03	183,795	-12.65	-8,010	-9,070	0.00	-21,599	-183.70
13.03予	210,000	14.26	10,000	9,000	0.00	5,500	46.78

Evening Report

株式会社フィスコ
2012年10月23日(火)
17:46

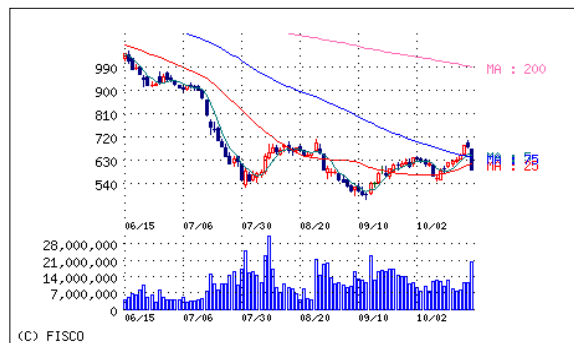
参考銘柄 関西電力(東証1部 9503)

通期無配転落で急落もやや過剰反応ともみられ

単位:円

業種	電力
投資評価	買い
終値	595 円
目標株価	650 円
売買単位	100 株

本日は今年間で無配転落との報道が嫌気されて急落となったが、通期無配の可能性は指摘され、ある程度は織り込まれていたと見られ、やや過剰反応であったと捉えられる。今後は電力料金引き上げによる黒字転換の可能性などを織り込みに行く展開と想定したい。



8月の戻り高値水準で一目均衡表の雲上限で伸び悩む格好となった。ただ、目先のには雲の下限水準が支持線となる可能性も。

(佐藤 勝己)

(百万円・円・%)

連結	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益
08.03	2,689,317	3.58	187,149	152,444	-34.20	85,265	92.39
09.03	2,789,575	3.73	31,048	-12,581	0.00	-8,796	-9.65
10.03	2,606,592	-6.56	227,661	193,132	0.00	127,170	140.24
11.03	2,769,783	6.26	273,885	237,987	23.23	123,143	137.66
12.03	2,811,424	1.50	-229,388	-265,537	0.00	-242,257	-271.12
13.03 予	-	-	-	-	-	-	-

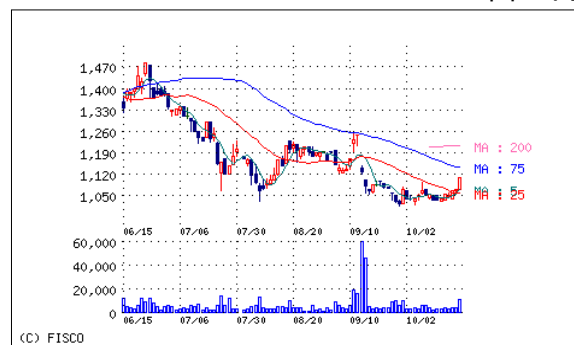
参考銘柄 ミサワ(東証マザーズ 3169)

出遅れ感の強い直近IPO銘柄として注目

単位:円

業種	小売
投資評価	買い
終値	1,108 円
目標株価	1,200 円
売買単位	100 株

出遅れ感の強い直近IPO銘柄として注目する。本日もトレンドダース<6069>やエニグモ<3665>が上場来高値を更新するなど、マザーズ市場では直近IPO銘柄の循環物色が継続している。昨年上場した銘柄にも物色が波及する中で、同社については下値圏でのみあい推移が続いており、出遅れ感が強い印象。「unico」ブランドの家具の販売が好調で、業績面での買い安心感が高いことも支援材料に。



出来高を伴う上昇で25日線を上放れたことで先高観が強まっており、200日線を意識したテクニカルリバウンドへ。

(小川 佳紀)

(百万円・円・%)

連結	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益
10.01	2,952	-	36	46	-	21	547.82
11.01	3,786	28.25	210	191	315.22	58	1,452.02
12.01	4,621	22.05	392	375	96.34	228	138.51
13.01 予	5,415	17.18	494	460	22.67	291	140.58

Evening Report

株式会社フィスコ
2012年10月23日(火)
17:46

フ
イ
ス
コ
イ
ブ
ニ
ン
グ

本日のスナップショット

<6301> コマツ 1703 -7

買い先行後は伸び悩む。米キャタピラーが7-9月期の決算を発表、通期収益予想の下方修正、並びに、来期の慎重な見方を示したことで売りが優勢となったが、目先のアク抜け感なども強まる形で、売り一巡後は切り返す展開となっている。通期EPSは9-9.25ドルと予想、従来予想は約9.6ドルであった。また、13年の売上高は前年比±5%の見通しとしているが、コンセンサスはプラス5.1%の水準だったもよう。キャタピラーの株価動向が安心感の高まりに直結する格好になって、朝方は買い先行となったが、足元の株価上昇の反動で買い一巡後は伸び悩む。

<9503> 関西電力 595 -88

大幅続落で下落率上位。今期は操業初年度以来61年ぶりに年間配当をゼロとするとの観測報道が伝わっている。燃料費負担が重く業績回復のメドが立たないためとしている。中間期配当は32年ぶりの見送りを発表していたが、通期予想は未定としていた。通期無配を想定する見方も多かったようだが、ネガティブな反応が優勢、他の電力株でも連れ安するものが目立っている。

<9843> ニトリHD 6550 -300

さえない動き。前日に月次動向を発表、10月の既存店売上高は前年同月比8.5%減となり、2ヶ月連続でのマイナス成長となっている。減収率の大きさは昨年11月以来の水準となっており、売上の伸び悩みを警戒する動きが優勢に。また、足元での円安傾向も同社にとっては逆風の状況と捉えられる。なお、ドイツ証券では、顧客層拡大の取り組みは想定以上に長期戦になっているとして、投資判断を「バイ」から「ホールド」に格下げしているようだ。

<8101> GSIクレオス 107 +3

人気化。京都大学助教授らが、カーボンナノチューブが将来、がん治療に使える可能性を見出したと報じられている。足元のバイオ関連物色の流れが、カーボンナノチューブなどナノテク関連に波及する状況も連想される格好から、ナノテク関連の低位材料株と位置づけられる同社には短期資金の矛先が向かう格好にも。

<6676> メルコ 1694 +69

大幅反発。前日に上半期の決算を発表、営業利益は8.9億円の前年同期比78%減益となり、従来予想の10.0億円を下回る着地となっている。通期予想は従来の80億円から32億円まで下方修正。通期では48億円の下方修正となるが、先に下方修正している上半期は期初予想比で24億円の下振れとなっており、想定範囲内とも捉えられる状況のようだ。信用倍率は0.5倍割れと売り長な需給関係にあり、出尽し感からの買い戻しが優勢となっている。

<6674> GSユアサ 314 -46

急落で下落率上位。前日に発表した業績下方修正がネガティブ視されている。上半期営業利益は従来予想の60億円から40億円に、通期では180億円から100億円に下方修正へ。業績下振れ懸念はあったものの、アナリストの通期予想レンジの下限でも165億円程度であったもよう。下方修正幅の大きさにはインパクトが強いもよう。電気自動車向け電池の下振れが下方修正の主因とみられている。クレディスイス(CS)では、減損を意識すれば株価は一旦300円割れの可能性ありとも。

<6594> 日本電産 5330 -80

売り優勢。米ウエスタンデジタル(WD)が第1四半期の決算を発表、第2四半期の業績見通しが嫌気される形から時間外取引では5%の下落となっている。同業のシーゲートなども連れ安する格好となっており、国内HDD関連銘柄の一角となる同社などにも売りが波及している。WDの10-12月期EPS見通しは1.65-1.85のレンジであり、コンセンサスの2.39を下回る状況に。

<2811> カゴメ 1668 -50

軟調。前日に上半期の決算を発表、営業利益は75億円の前年同期比31%増益、従来計画の80億円は下振れての着地に。また、通期見通しは100億円から94億円に若干下方修正している。第1四半期の実績から下振れ決算はやや想定外、景気敏感株などのようにアク抜け感が強まる状況には至っていない。販売競争の激化に伴う野菜飲料の伸び鈍化などが背景になっているようだ。

<5612> 日本鉄鋼管 169 +8

大幅続伸で上昇率上位。前日に上半期業績予想の上方修正を発表している。営業利益は従来予想の4.6億円から5.8億円に増額、前年同期比では2.3倍の水準となる。7月半ばに続いての上方修正となる格好。原材料価格の想定比下振れ、合理化効果などが背景となっている。期初計画が保守的過ぎた面もあるが、業績変化率の高さなどはストレートに評価される展開となっているようだ。

<7270> 富士重 743 +27

後場は一段高の展開となっている。前引け後に上半期業績予想の上方修正を発表している。営業利益は従来予想の320億円から430億円、前年同期比2.3倍に増額している。売上構成の改善などが業績上振れの背景としているようだ。市場コンセンサスは380億円前後であったため、想定以上の上方修正幅となり、インパクトが先行する展開に。

Evening Report

株式会社フィスコ
2012年10月23日(火)
17:46

フ
イ
ス
コ
イ
ブ
ニ
ン
グ

参考銘柄 Review

本レポートに取り上げた参考銘柄の動向を掲載します

掲載日	コード	銘柄	コメント
10月22日	4755	楽天	反発で、上値を抑えられている25日線の突破を試す動きに。
10月22日	1976	明星工業	長い上ヒゲ残し手仕舞いへ。
10月22日	6807	航空電子	25日線に上値を抑えられる形状に。640円割れをロスカットラインとする。
10月19日	2158	UBIC	4日続伸となり、リバウンド基調が継続。
10月19日	6268	ナブテスコ	引き続き中国関連の出遅れとして。
10月19日	6724	エプソン	25日線の攻防。5日線がサポートとして意識されてきている。
10月18日	9438	エムティーアイ	反落も、25日線がサポートラインとして機能。
10月18日	6440	JUKI	25日線を突破。連日の陽線形成でリバウンド基調は継続。
10月17日	8750	第一生命	直近の上昇に対する利益確定の流れ。利益確定を優先し、93000円割れを撤退ポイント。
10月16日	6871	日本マイクロニクス	5日線水準でのこう着推移に。
10月15日	3175	APC	上値重い展開が継続し撤退へ。
10月15日	8058	三菱商事	1380円割れを撤退ラインとする。

Evening Report

重要事項(ディスクレマー)

- 株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。
- “JASDAQ INDEX”の指数値および商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。
- 掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容および情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。
- 本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告無く変更する場合があります。
- 本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。
- フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。
- 本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。
- 本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大することを保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。
- フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。
- 投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ